

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 株式会社 大田花き
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 磯村 信夫
 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	20,629	0.8	37	△71.3	72	△55.7	31	△68.0
28年3月期第3四半期	20,470	—	131	—	164	—	98	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 31百万円 (△68.0%) 28年3月期第3四半期 98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	6.18	—
28年3月期第3四半期	19.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	11,039	4,646	42.1	913.27
28年3月期	9,280	4,676	50.4	919.08

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,646百万円 28年3月期 4,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,414	0.4	62	△66.1	101	△55.2	66	△43.1	13.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	5,500,000 株	28年3月期	5,500,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	411,826 株	28年3月期	411,463 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	5,088,383 株	28年3月期3Q	5,088,960 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、イギリスのEU離脱表明やアメリカの新政権への移行の影響などから、不確実性が高まり先行き不透明な状況が続いておりますが、円安を受け輸出関連株は持ち直しています。個人消費は弱含みであったものの“コト消費”はますます活発になりました。

このような経済状況の下で、当社グループは新しい“コト消費”の代表であるハロウィン、文化の日を中心とした華道展、11月22日いい夫婦の日、クリスマス、お正月などコトには欠かせない花のプロモーションと、冠婚葬祭の花に力を入れました。また、家庭内消費を定着させるため、家庭に花を習慣的に飾ってもらう「ウィークエンドフラワー」の活動を推進、生花小売店とともに販売促進をしました。しかし、9月10月に長雨が続いたため作柄が悪く、10月から12月にかけて出荷量が減少しました。これにより極端な品薄が続き、卸売価格が上昇、月別の売上金額は前年を上回りました。割高感を払拭すべく集荷に努めましたが、前年並みの入荷量を確保することが出来ず、必要とされる商品を十分に供給することができない時期が続きました。

連結子会社の株式会社九州大田花きは、熊本地震により九州地方の消費が陰りがちでありましたが、「こんな時にこそ販路拡大を」と掲げ、日本でも代表的な銘柄産地の商品を販売しました。これにより前年より売上を伸ばしたものの、品薄で仕入価格も上昇したため、売上総利益は若干の増加に止まりました。

連結子会社の株式会社大田ウィングスは、卸売市場を運営する当社のプラットフォームを物流面で支えるべく、新物流施設を平成27年4月より建設中でありました。予定通り平成28年12月に竣工を迎えると、年末の需要期にさっそうく使用、今後工夫を重ねて最適物流を図っていきます。

この結果、当第3四半期連結累計期間(平成28年4～12月)における当社グループの業績は、売上高20,629,882千円(前年同四半期比0.8%増)、営業利益37,779千円(前年同四半期比71.3%減)、経常利益72,836千円(前年同四半期比55.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益31,454千円(前年同四半期比68.0%減)となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,758,963千円増加し11,039,677千円となりました。これは主に建物が1,286,728千円、現金及び預金が674,290千円、売掛金が229,808千円それぞれ増加したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して1,788,861千円増加し6,392,792千円となりました。これは主に長短借入金が950,620千円、受託販売未払金が507,625千円、未払金が248,922千円がそれぞれ増加したことなどによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して29,898千円減少し4,646,884千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益31,454千円を計上する一方、剰余金の配当61,062千円を行ったことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して674,290千円増加し2,708,714千円となっております。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、731,334千円(前年同四半期は453,626千円の増加)となりました。主な増加要因は、仕入債務の増加529,015千円、減価償却費225,876千円、未収消費税等の減少155,802千円などによるものです。また、主な減少要因は売上債権の増加231,644千円、法人税等の支払額83,614千円などによるものです。

投資活動の結果減少した資金は、934,486千円(前年同四半期は1,158,039千円の減少)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出934,748千円、貸付けによる支出63,900千円によるものです。また、増加要因は貸付金の回収による収入73,032千円によるものです。

財務活動の結果増加した資金は、877,443千円(前年同四半期は342,628千円の増加)となりました。増加要因は、新施設建設に伴う借入による収入1,067,000千円によるものです。また、主な減少要因は借入金の返済による支出116,380千円、配当金の支払額59,882千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日(平成29年2月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,036,423	2,710,714
売掛金	2,132,496	2,362,304
商品	1,438	263
未収消費税等	155,802	—
その他	127,951	257,358
貸倒引当金	△12,294	△5,699
流動資産合計	4,441,818	5,324,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,139,793	3,426,522
工具、器具及び備品(純額)	486,939	472,468
建設仮勘定	330,552	—
その他(純額)	142,095	131,916
有形固定資産合計	3,099,381	4,030,907
無形固定資産		
ソフトウェア	69,198	40,484
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	73,464	44,749
投資その他の資産	1,666,050	1,639,077
固定資産合計	4,838,895	5,714,734
資産合計	9,280,714	11,039,677
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	1,513,279	2,020,904
買掛金	75,147	101,030
短期借入金	150,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	159,960	253,800
未払金	391,406	640,328
未払法人税等	52,960	16,437
賞与引当金	25,096	13,000
その他	141,476	170,979
流動負債合計	2,509,326	3,516,479
固定負債		
長期借入金	1,339,390	2,046,170
退職給付に係る負債	301,555	329,455
資産除去債務	93,759	134,122
その他	359,899	366,564
固定負債合計	2,094,604	2,876,312
負債合計	4,603,931	6,392,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,072,269	4,042,661
自己株式	△349,852	△350,143
株主資本合計	4,676,783	4,646,884
純資産合計	4,676,783	4,646,884
負債純資産合計	9,280,714	11,039,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	20,470,717	20,629,882
売上原価	18,469,954	18,623,231
売上総利益	2,000,762	2,006,651
販売費及び一般管理費	1,869,298	1,968,872
営業利益	131,463	37,779
営業外収益		
受取利息	3,787	3,443
受取配当金	4,500	6,878
持分法による投資利益	2,710	5,958
貸倒引当金戻入額	—	6,712
その他	22,395	18,613
営業外収益合計	33,394	41,605
営業外費用		
支払利息	339	6,139
固定資産除却損	103	—
保険解約損	—	408
営業外費用合計	442	6,548
経常利益	164,414	72,836
税金等調整前四半期純利益	164,414	72,836
法人税等	66,127	41,382
四半期純利益	98,287	31,454
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,287	31,454

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	98,287	31,454
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	98,287	31,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,287	31,454
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	164,414	72,836
減価償却費	119,567	225,876
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,919	△12,096
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28,433	27,900
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,400	△6,712
受取利息及び受取配当金	△8,287	△10,321
支払利息	339	6,139
持分法による投資損益(△は益)	△2,710	△5,958
固定資産除却損	103	—
売上債権の増減額(△は増加)	△571,522	△231,644
たな卸資産の増減額(△は増加)	7	1,174
仕入債務の増減額(△は減少)	844,767	529,015
未収入金の増減額(△は増加)	4,579	2,800
未払費用の増減額(△は減少)	7,611	5,360
未払金の増減額(△は減少)	△22,755	△15,167
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	155,802
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,686	23,599
その他	△39,617	22,185
小計	481,725	790,791
利息及び配当金の受取額	23,296	30,297
利息の支払額	△208	△6,139
法人税等の支払額	△51,187	△83,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	453,626	731,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,215,816	△934,748
無形固定資産の取得による支出	△2,250	△7,527
長期前払費用の取得による支出	△1,776	△1,342
貸付けによる支出	△137,200	△63,900
貸付金の回収による収入	99,004	73,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,158,039	△934,486
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	150,000
長期借入れによる収入	420,000	917,000
長期借入金の返済による支出	△2,080	△116,380
自己株式の取得による支出	△827	△290
配当金の支払額	△59,063	△59,882
リース債務の返済による支出	△15,399	△13,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	342,628	877,443
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△361,784	674,290
現金及び現金同等物の期首残高	2,624,777	2,034,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,262,993	2,708,714

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。